2章

表を表示してみよう

表編集の開始

表を表示することを「表を開く」といいます。この章では、 サンプルの住所録の表を使って、表を開く操作、表示した表 のスクロール、カーソルの移動、並べ替え、表を閉じる操作 など、表を使うときの基本操作を練習します。また、表の構 成についても説明します。

使用する表:住所録(Jusho.tbl)

				5分	桐ファイルパレットで表を開く	. 10
		Settle			100-50 月月前	
	原 数 見目 漱石	(32 KWL		达顺用达	行 (レコード)と項目 (列)	. 14
	田村 様子		PIE POUN		スクロールして大きな表を見る	. 18
		Mari 2580		一		20
		10 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		10分	左見出しの項目を固定してスクロールする. (列固定)	. 20
	外井 竹町 豊田 佐吉	Est ass		16-9403-95599	表といっしょに項目の一覧を見る (項目一覧の表示)	. 22
	安田 野之間 井上 智 倉田 田三	やすだ ぜんじろき しのうえ からも ころた ひゃくぞう		東京都と	(現日 見の衣が) 	24
	田中 第一	たなか きいち いわくろ ともみ		HANGE UP		27
	通行 光太郎 同田 三郎助	たかむら こうたろう おかた さいろうずけ		10分	データを五十音順に並べ替える	. 28
前基础		28 HINESE		5分	表を閉じる(表の保存)	. 30
					まとめと O&A	. 32

桐ファイルパレットで表を開く

桐ファイルパレット を使ってサンブルの表を表示します。表を表示することを「**表を開く**」といいます。ここではサンブルフォルダのなかにある住所録(Jusho.tbl)を開きます。

サンプルの住所録の表を表示する

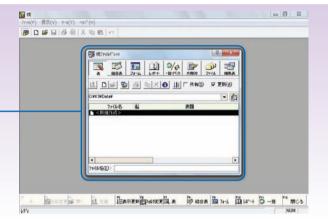
本書で使用するサンプルデータは、業務などで使用するデータとの混在を避けるため、サンプルデータ用の「**C:¥** K3¥KIRIV9¥Sample¥例題¥表ツアー¥」フォルダに収録しています。サンプルの表を表示するときには、事前に「サンプルデータ用のフォルダに切り替える」操作が入りますので、留意してください。それでは、サンプルの住所録(Jusho, tbl)を表示してみましょう。

表を開くには[桐ファイルパレット]を使います。[桐ファイルパレット]は、表やフォームなどのファイルを操作するためのツールです(P.12 コラム参照)。

桐ファイルパレット -

[桐ファイルパレット]を表示する

[桐ファイルパレット] が出ていない場合には、ツールバー左端の **愛** (ファイルパレット) をクリックして表示します。



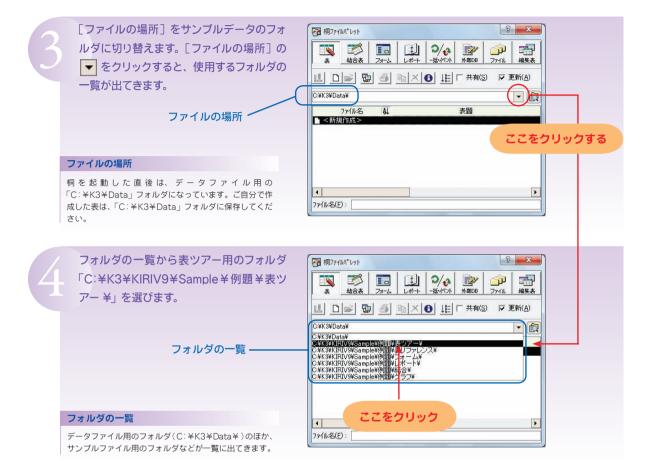
どの種類のファイルを開くかを選択します。 表を開くので、

(表)を選びます。

表をクリック



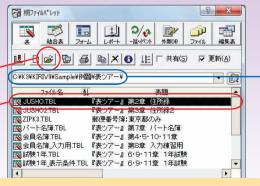
10



サンプルフォルダのなかにある表ファイルの 一覧が出てきます。一覧から「Jusho.tbl」 を選んで、 (開く)をクリックして開きます。

② ここをクリック

① 表ファイルをクリックして

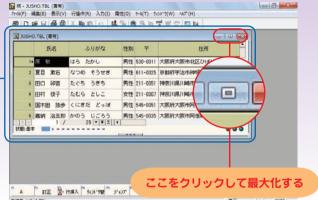


ファイルの場所がサンプルのフォルダに切り替わった

桐ファイルパレットで表を開く

住所録の表が出てきました。表編集ウィンドウ右上隅の 回 (最大化)をクリックして、画面一杯に表示します。

表編集ウィンドウ・





表と表ファイル

桐では、データを **表** に登録(入力)します。表に登録したデータは、**表ファイル** としてコンピューターのディスクに記録されます。ひとつの表が、ひとつの表ファイルに対応しています。

[桐ファイルパレット] の機能

[桐ファイルパレット] は、表やフォームなどを開く操作のほか、表やフォームなどの新規作成、再定義、コピー、移動、削除などが行なえます。[桐ファイルパレット] の操作については、『表リファレンス』の「桐ファイルパレット」の項を参照してください。

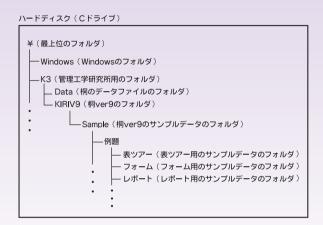


桐のデータファイルとフォルダ

桐のデータファイルと **フォルダ** の関係について簡単に説明します。

コンピューターのハードディスクには、Windows や桐などのソフトウェアのほか、作成したデータファイルなどが保存されています。ソフトウェアやデータファイルは、ハードディスクのなかに混然と記録されているわけではなく、各ソフトウェアは自分用の間仕切り(フォルダ)を作って、そのフォルダのなかにデータファイルを保存しています(実際にはフォルダのなかに、さらに子フォルダを作ってファイルを保存しています)。企業が会社組織(ドライブ)を部→課→係のように細分化して、社員(ファイル)を配属しているのと似た構造です。





桐で作成したデータファイルは、「**C:¥K3¥Data¥**」フォルダに保存します。通常、桐で作業するときは、このフォルダが操作の対象になっています。もし、[桐ファイルパレット] のフォルダの場所がそのようになっていないときは、「C:¥K3¥Data¥」に切り替えてお使いください。

フォルダ名の書きかた

[ファイルの場所] は、フォルダ名を「¥」記号でつなげて住所のように表記します。桐で使用するおもなフォルダはつぎのように書きます。「¥」記号は、わたしたちの住所における「~県~」や「~市~」などの区切り文字に相当します。

C:¥K3¥ … 管理工学研究所用のフォルダ

C:\diamonum V:\diamonum V:\d

C:\diamole\d

C:¥K3¥KIRIV9¥Sample¥ 例題 ¥ 表ツアー ¥ … 本書で使うサンプルファイルのフォルダ

行(レコード)と項目(列)

表の構成について簡単に説明します。表の横の仕切りを 行 (レコード) といい、1 行が 1 件のデータになっています。 縦の仕切りを 項目 (列) といい、1 件のデータを構成する要素になっています。



[氏名] の項目にあるカーソルが1行ずつ上下に移動します。それに連動して、行全体を囲む罫線も動きます。この罫線で囲まれた1行が1件のデータになります。

1行が1件のデータになる-



カーソルの移動

マウスポインタをセルに合わせてクリックし、カーソルを位置付けることもできます。

表の左端の番号(これを **行番号** といいます) が表示されているところにマウスポインタを合わせてクリックしてください。

ここをクリック

行番号

行番号は便宜的なものです。データを並べ替えた場合、 並べ替わった状態で行番号が再度ふられます。





行全体が反転表示になりました。この操作を 「行(レコード)の選択」といいます。あち こちの行を選択してみてください(別の行を 選択すると、それまで選択していた行は解 除されます)。

行が選択された



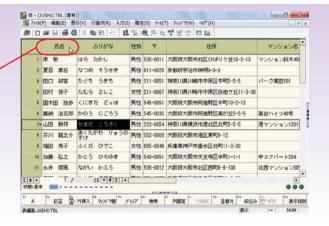
行の選択を解除するには、表のデータの部分(セル)をクリックします。

セルをクリックすると解除される



つぎに項目の名前(**項目名**といいます)の部分をクリックします。

ここをクリック



つぎへつづく →

行(レコード)と項目(列)

項目全体が反転表示になりました。この操作を「項目(列)の選択」といいます。いろいろな項目を選択してみてください(別の項目を選択すると、それまで選択していた項目は解除されます)。

項目が選択された



選択されている項目のデータに注目してください。すべての行に同じ種類のデータが入力されています。たとえば、[氏名]の項目には、氏名のデータだけが登録されています。[氏名]や[住所]をはじめとして、すべての項目がそのようになっていることがわかります。



[氏名] の項目には、氏名のデータしか登録されていない

「住所」など他の項目も同様

項目の選択を解除するには、表のデータの セルをクリックします。

セルをクリックすると解除される





桐の表のデータの特徴 (表計算ソフトウェアとの違い)

桐では、それぞれの項目(列)はすべての行(レコード)で同種のデータが登録されていることが前提です。[氏名]の項目に、氏名以外(たとえば、住所や電話番号など)のデータを登録するようなことはしません(行によっては、データが空になっていることがあります)。表のどの行を見ても、データの内容は異なっているものの「同じ要素」で構成されています。表計算ソフトウェアのように、同じ列であっても、ある行は見出し、ある行は明細となることはありません。

項目名

それぞれの項目には、固有の名前(**項目名**) がついています。表のなかには同じ名前の項目は存在していないので、項目名を使って項目を特定します。たとえば、「単価×数量=金額」のような計算を行なう場合、項目名を使って計算式を**[単価]*[数量]**と表記します。

この計算式のように、桐では項目名を角かっこ(【 と 】)で囲んで表記します。たとえば、住所録の「氏名」の項目は、[氏名]と表記します。

スクロールして大きな表を見る

表編集画面は、データを一覧するのに適しています。ただし横に長い表や件数の多い表では、スクロール を行なって画面の外に隠れている部分を表示する必要があります。上下スクロールのあと、左右にスクロールしてみます。

上下にスクロールします。表編集画面の右側にある ▼ をクリックしてください。



1行分だけ下の行が出てきました。同様に 何回か ▼ をクリックしてみてください。

下から1行ずつ出てきた

スクロールバー

スクロールするための棒 (バー) なので **スクロールバー** といいます。

つぎに ▲ をクリックすると、上の行が出てきます。このように縦のスクロールバーを操作して表を上下にスクロールします。

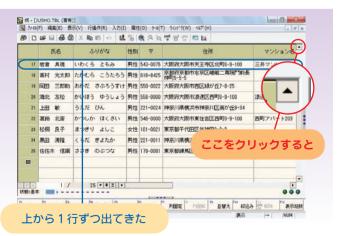
連続スクロール

▼ や ▲ をクリックするとき、マウスの左ボタンを押したままにすると、連続してスクロールします。

ホイール付きマウス

ホイール付きマウスでは、ホイールを回して上下にスクロールすることもできます。







つぎに左右にスクロールしてみましょう。表編集画面の下部にある ▶ をクリックしてください。左に1項目ずつずれて、右側から隠れていた項目が出てきます。

右から隠れていた項目が出てきた



反対に **◆** をクリックすると、左の項目が出てきます。 1項目ずつ左右にスクロールすることがわかります。

左から1項目ずつ出てきた

連続スクロール

▶ や ◆ をクリックするとき、マウスの左ボタンを押したままにすると、連続してスクロールします。



コラム

スクロールバーの使いかた

横のスクロールバーのなかの「**つまみ**」にマウスポインタを合わせてマウスの左ボタンを押し、ボタンを押したまま左右に動かすと、手でシートを動かすようにスクロールすることができます。縦のスクロールバーでも同様に操作してスクロールできます。

また、スクロールバーの「つまみ」以外の部分をクリック すると、ほぼ1画面分ずつスクロールすることができます。 いろいろと試してみてください。

「つまみ」でマウスの左ボタンを押し、そのま まマウスを動かしてスクロールする



左見出しの項目を固定してスクロールする (列間)

住所録の表を左右にスクロールすると、左端の項目が画面から出てしまうため誰のデータなのかわからなくなります。このようなときには、見出しとして使いたい項目をつねに左に表示させておくことができます(列固定といいます)。

左見出しにする項目の項目名を選択します。 ここでは[氏名]の項目名を選択します。

ここをクリック



ファンクションキー F7 (列固定) を押します。

F7 キーを押すか、ここをクリック

メニューバーでの操作

メニューで列固定を行なうには、[属性] メニューから [列固定] を選びます。

0 0 □ 柄 - [JUSHO.TBL (事有)] 7 / (i/F) 編集(E) 表示(V) 行操作(R) 入力(I) 開性(O) から(T) からいか(W) ヘムズ(H) 8 D # 8 6 6 1 X 16 6 10 3,41652 (95) T マンション名 Ide tabl 男性 530-0011 大阪府大阪市北区ひばりヶ丘10-2-13 マンション鈴木40 夏日 漱石 なつめ そうせき 男性 611-0025 京都府宇治市神明3-3-3 田口 約書 たぐち ろぎち 男性 211-0051 神奈川県川崎市中原区中町5-5-5 パーク家田101 t 田村 俊子 たむら 女性 211-0007 神奈川県川崎市中原区自由ケ丘11-3-30 国本田 独步 くにきた 男性 545-0051 大阪府大阪市阿倍野区中町10-2-13 高端 含五郎 hyn)= 大阪市開催野交車から5-5-5 事会ハイツの発 山田 耕筰 最活市港北区北町5-5-5 港マンション(201-引 職之介 市港区車町9-19 列固定 瀬田 秀子 市順水区北岸111-3-30 10節 弘之 版市天王寺区中町1-1-1 中3アパート204 北西マンション30! k 非 荷風 ながい かふう 男性 530-3012 大阪府大阪市北区西町6-9-100 25 - - - -000 訂正 富・行導入 9/3/19間 9/5/27 検索 予照定

[氏名] の項目が表の左端に固定され、項目 名の表示色が黒から青に変わりました。

列固定すると項目名の表示色が変わる

複数の項目の列固定

複数の項目を固定するには、列固定の操作を繰り返します。このとき固定した順番で左から項目が並びます。



★川 競力会 あくたがわ りゅうの 単性 552-0003 大阪府大阪市

วก

0 0 -3-

044-1

人事部 部長

経験器 部長 075-1

200

文書85 85長 06-63

総務部 課長 045-1

営業部 課長

係長 08-8;

次長 078-1

次長 06-65



この状態で左右にスクロールすると、[氏名] の項目はつねに表示され、残りの項目だけ が動きます。左右にスクロールして確認して ください。

10

図 明 - [JUSHO.TBL (南南)] 図 7±(4(F) 補業(E) 表示(V) 行操作(R) 入力(I) 業性(O) 5±4(T) 5±0±*5(W) 445*(H)

部口は日本日×日日 | 11日 | 11日日 | 11日

075-555-0005 075-555-2232

044-333-0006 044-333-1415

045-555-0005 045-555-1406

FAY

裏納 治五郎 08-8555-0001 08-8555-2184 090-3458-7890 立學當機商会

携带雷跃委员

08-6444-0003 06-6444-3248 090-1123-4567 田中OA販売株式会社

TE-02

夏日 漱石

田口 柳木

4 田村 俊子

5 国本田 独步

山田 耕筰

ここをクリックしてスクロール

山田事物機商事

平高息回

伊藤ソフトウェア商事

列固定の解除

「氏名」の項目をつねに残してスクロールする

列固定の状態を解除するには、解除したい項目名を選択してからファンクションキー 「F8」(列固解)を押します。

列固解

『 訂正 日 行導入 " 9/34"998"



メニューバーでの操作

[属性] メニューから [列固定解除] を選びます。

F8 キーを押すか、ここをクリック